

平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年8月5日

上場取引所 東

上場会社名 極東貿易株式会社
 コード番号 8093 URL <http://www.kbk.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長
 四半期報告書提出予定日 平成21年8月13日
 配当支払開始予定日 —

(氏名) 廣阪 明
 (氏名) 苦米地 信輝

TEL 03-3244-3592

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	10,496	△42.3	△485	—	△435	—	△427	—
21年3月期第1四半期	18,188	—	113	—	168	—	57	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	△15.96	—
21年3月期第1四半期	2.14	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	32,441	12,375	38.1	462.11
21年3月期	34,148	12,070	35.3	450.67

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 12,375百万円 21年3月期 12,070百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	3.75	—	3.75	7.50
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	—	—

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

(注1) 現時点での平成22年3月期の配当予想については未定とさせていただきます。

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 連結累計期間	24,000	△38.8	△400	—	△300	—	△800	—	△29.87
通期	52,000	△26.9	△250	—	△100	—	△600	—	△22.40

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第1四半期	27,899,592株	21年3月期	27,899,592株
② 期末自己株式数	22年3月期第1四半期	1,119,656株	21年3月期	1,116,615株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第1四半期	26,781,637株	21年3月期第1四半期	26,790,016株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、3ページ【定性的情報・財務諸表等】「3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

2. 当社を取り巻く経済環境が不透明ゆえ、当社業績の変動が予想され、現時点における平成22年3月期の配当に関しては未定とさせていただきます。配当予想額の開示が可能になった時点で速やかに開示を行うものいたします。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、世界規模での経済不況の中にあり、輸出が僅かながら上向きに転じ始めているほか、定額給付金などの効果も出始め、個人消費にも持ち直しの感が出ておりますものの、雇用情勢はいまだ厳しく、消費の先行きは依然不透明感が強い状況であり、景気の反転は当分先になると言えましょう。

このような経済状況のもとで、当グループは「グループ全体の構造改革の断行による事業収益力の回復」と「経営管理体制整備による信用力の回復」を経営の最重要課題として位置づけ既存商権の「選択と集中」を実施するとともに、全グループ横断的な経費削減に鋭意努力し、次世代のコア事業の開拓に努めてまいりました。

この結果、中国向け自動車部品用及び家電用コーティング材においては在庫調整が漸く終わった状態で需要の伸びには結びつかず、製鉄所・化学プラント向け重電設備や電子機器についても業界不況の影響を受け、資源開発機器については、大型案件、プロジェクト案件に恵まれなかったため大きく売上を落としました。この結果、売上高は前年同期と比べ76億92百万円減少の104億96百万円に留まりました。

損益の面におきましては、売上総利益が前年同期と比べ7億37百万円減少の9億2百万円となり、その結果営業損益は前年同期と比べ5億98百万円減少の4億85百万円の損失となりました。これに伴い経常損益は前年同期と比べ6億4百万円減少の4億35百万円の損失となり、四半期純損益は前年同期と比べ4億84百万円減少の4億27百万円の損失となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債、純資産及びキャッシュ・フローの状況に関する分析)

当第1四半期連結会計期間末における総資産につきましては、投資有価証券の増加があったものの、売上債権の減少などにより、前連結会計年度末に比べ17億6百万円減少し、324億41百万円となりました。

負債につきましては、未払金の減少などにより、前連結会計年度末に比べ20億12百万円減少し、200億65百万円となりました。純資産につきましては、その他有価証券評価差額金の増加などにより、前連結会計年度末に比べ3億5百万円増加し、123億75百万円となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

営業活動によるキャッシュ・フローでは、売上債権の減少などにより2億14百万円の収入となりました。投資活動によるキャッシュ・フローでは、保有していた債券の償還などにより3億83百万円の収入となりました。財務活動によるキャッシュ・フローでは、配当金の支払などにより72百万円の支出となりました。

この結果、当グループの当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ5億69百万円増加し、59億17百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期の連結業績は、予想された通り厳しい経営環境の中での事業運営となりました。

今後の見通しにつきましては、世界経済全般では、各国の景気刺激策の実施の影響を受け、足元での悪化ペースは緩和し、底打ちの兆しが出始めているとも言われ、国内経済も在庫調整の進展による生産、輸出の持ち直しや公共投資を中心とした追加経済対策の効果などを背景とし、成長に転ずるとも言われています。しかしながら、当グループを取り巻く経済環境については、引き続き決して楽観は許されず、年後半から来年にかけ、拭い去れない不透明感は否めない状況です。

そうした中、当グループは「グループ全体の構造改革の断行による事業収益力の回復」と「経営管理体制整備による信用力の回復」を経営の最重要課題と位置づけて、グループ一丸となって取り組んでまいります。

なお、第2四半期連結累計期間並びに通期連結業績予想に関しては、平成21年5月11日決算発表から変更はございません。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）
該当事項はありません。
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,165	5,511
受取手形及び売掛金	12,055	15,765
有価証券	98	793
商品及び製品	1,349	1,289
仕掛品	8	5
原材料及び貯蔵品	10	8
前渡金	2,366	1,930
繰延税金資産	10	12
その他	1,408	1,124
貸倒引当金	△33	△34
流動資産合計	23,439	26,407
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	905	896
減価償却累計額	△634	△629
建物及び構築物(純額)	270	266
機械装置及び運搬具	58	58
減価償却累計額	△45	△44
機械装置及び運搬具(純額)	13	13
工具、器具及び備品	564	528
減価償却累計額	△427	△424
工具、器具及び備品(純額)	137	103
土地	196	196
リース資産	20	20
減価償却累計額	△4	△3
リース資産(純額)	15	16
有形固定資産合計	632	596
無形固定資産	168	179
投資その他の資産		
投資有価証券	6,954	5,775
長期貸付金	96	103
繰延税金資産	—	11
その他	1,223	1,148
貸倒引当金	△74	△74
投資その他の資産合計	8,200	6,964
固定資産合計	9,001	7,740
資産合計	32,441	34,148

(単位：百万円)

当第1四半期連結会計期間末
(平成21年6月30日)

前連結会計年度末に係る
要約連結貸借対照表
(平成21年3月31日)

負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,901	12,257
短期借入金	1,920	1,920
1年内償還予定の社債	300	300
リース債務	4	4
未払法人税等	11	43
前受金	2,344	1,963
賞与引当金	81	275
違約損失引当金	1,375	1,375
繰延税金負債	—	21
その他	582	1,526
流動負債合計	17,522	19,688
固定負債		
長期未払金	72	192
社債	1,200	1,200
リース債務	12	14
繰延税金負債	335	19
退職給付引当金	922	963
固定負債合計	2,543	2,389
負債合計	20,065	22,077
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,030	5,030
資本剰余金	4,630	4,630
利益剰余金	3,036	3,549
自己株式	△340	△340
株主資本合計	12,356	12,870
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	232	△416
繰延ヘッジ損益	△16	△62
為替換算調整勘定	△196	△321
評価・換算差額等合計	19	△800
純資産合計	12,375	12,070
負債純資産合計	32,441	34,148

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	18,188	10,496
売上原価	16,549	9,593
売上総利益	1,639	902
販売費及び一般管理費		
役員報酬及び給料手当	600	561
従業員賞与	19	1
賞与引当金繰入額	131	71
退職給付費用	46	67
減価償却費	39	30
その他	689	655
販売費及び一般管理費合計	1,526	1,387
営業利益又は営業損失(△)	113	△485
営業外収益		
受取利息	7	6
受取配当金	30	3
受取賃貸料	1	1
受取保険金	0	—
為替差益	—	4
持分法による投資利益	50	44
その他	3	4
営業外収益合計	93	65
営業外費用		
支払利息	7	10
為替差損	28	—
その他	1	4
営業外費用合計	37	15
経常利益又は経常損失(△)	168	△435
特別利益		
固定資産売却益	—	0
貸倒引当金戻入額	4	1
ゴルフ会員権売却益	7	—
特別利益合計	12	1
特別損失		
固定資産処分損	0	0
投資有価証券評価損	43	0
ゴルフ会員権評価損	—	2
特別損失合計	44	3
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	137	△437
法人税、住民税及び事業税	16	9
法人税等調整額	64	△18
法人税等合計	81	△9
少数株主損失(△)	△0	—
四半期純利益又は四半期純損失(△)	57	△427

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	137	△437
減価償却費	39	30
持分法による投資損益(△は益)	△50	△44
賞与引当金の増減額(△は減少)	△197	△193
退職給付引当金の増減額(△は減少)	7	△40
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△4	△2
受取利息及び受取配当金	△38	△10
支払利息	7	10
投資有価証券評価損益(△は益)	43	0
固定資産除売却損益(△は益)	0	0
有価証券売却損益(△は益)	—	△2
売上債権の増減額(△は増加)	3,091	3,775
たな卸資産の増減額(△は増加)	△563	△42
前渡金の増減額(△は増加)	△565	△429
未収入金の増減額(△は増加)	156	△488
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△71	154
仕入債務の増減額(△は減少)	1,896	△1,379
未払金の増減額(△は減少)	△60	△1,056
前受金の増減額(△は減少)	1,390	380
その他の流動負債の増減額(△は減少)	81	66
その他	△42	△123
小計	5,257	166
利息及び配当金の受取額	113	83
利息の支払額	△3	△2
法人税等の支払額	△41	△33
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,325	214
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△147	△211
定期預金の払戻による収入	—	140
有価証券の取得による支出	△300	—
有価証券の売却による収入	—	699
投資有価証券の取得による支出	△244	△193
投資有価証券の売却による収入	0	—
固定資産の取得による支出	△9	△17
固定資産の売却による収入	—	0
長期貸付金の増減額(△は増加)	3	9
差入保証金の増減額(△は増加)	△0	△3
その他	25	△39
投資活動によるキャッシュ・フロー	△673	383

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	103	—
自己株式の取得による支出	△0	△0
自己株式の売却による収入	0	—
配当金の支払額	△72	△71
その他	—	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	31	△72
現金及び現金同等物に係る換算差額	△57	44
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	4,625	569
現金及び現金同等物の期首残高	2,425	5,348
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,050	5,917

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

	電機・エネルギー関連 (百万円)	電子・航空 関連 (百万円)	一般産業 関連 (百万円)	合計 (百万円)	消去 又は全社 (百万円)	連結金額 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	9,454	1,444	7,290	18,188	—	18,188
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	9,454	1,444	7,290	18,188	—	18,188
営業利益又は 営業損失(△)	38	△219	297	116	△3	113

当第1四半期連結累計期間(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

	電機・エネルギー関連 (百万円)	電子・航空 関連 (百万円)	一般産業 関連 (百万円)	合計 (百万円)	消去 又は全社 (百万円)	連結金額 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	5,979	1,346	3,170	10,496	—	10,496
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	5,979	1,346	3,170	10,496	—	10,496
営業損失(△)	△57	△196	△229	△484	△0	△485

(注) 1 事業区分の方法

事業は、製品の系列及び市場の類似性を考慮して区分しております。

2 各区分に属する主要な商品

事業区分	主要商品
電機・エネルギー関連	電気機械設備、計装制御システム、石油掘削関連機器、石油・天然ガス探鉱技術サービスなどの資源開発機器
電子・航空関連	電子機器、電子部品及びソフトウェア、画像処理装置、航空機搭載電子機器、地上支援電子機器、航空機用機材、航法装置、自動車照明機器
一般産業関連	鉄鋼、非鉄、自動車、化学、造船、プラントエンジニアリングなどの関連機械装置、環境保全設備、複合材料製造設備、繊維加工機械、食肉加工機、樹脂加工機械、塗装設備、測定・分析装置及び、それぞれに関連する食品用副資材、工業用樹脂・塗料、建設用資材、合成複合材料、鋳鍛造品、繊維製品

〔所在地別セグメント情報〕

前第1四半期連結累計期間(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	東南アジア (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する 売上高	17,017	603	568	18,188	—	18,188
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	475	343	3	823	△823	—
計	17,493	946	572	19,012	△823	18,188
営業利益又は 営業損失(△)	45	△4	74	114	△1	113

当第1四半期連結累計期間(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	東南アジア (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する 売上高	9,979	270	246	10,496	—	10,496
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	198	54	1	254	△254	—
計	10,177	325	247	10,750	△254	10,496
営業利益又は 営業損失(△)	△472	△28	14	△486	1	△485

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本邦以外の各区分に属する主な国又は地域

(1) 北米……………米国

(2) 東南アジア……………中国、台湾

[海外売上高]

前第1四半期連結累計期間(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

	北米地域	欧州地域	東南アジア地域	その他の地域	合計
I 海外売上高(百万円)	906	191	2,310	—	3,408
II 連結売上高(百万円)					18,188
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	5.0	1.1	12.7	—	18.7

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国又は地域

(1) 北米……………米国、カナダ

(2) 欧州……………イギリス、スウェーデン、ドイツ

(3) 東南アジア……………中国、シンガポール、台湾、韓国

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

当第1四半期連結累計期間(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

	北米地域	欧州地域	東南アジア地域	その他の地域	合計
I 海外売上高(百万円)	1,228	108	719	69	2,125
II 連結売上高(百万円)					10,496
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	11.7	1.0	6.9	0.7	20.3

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国又は地域

(1) 北米……………米国、カナダ

(2) 欧州……………イギリス、スウェーデン、ドイツ

(3) 東南アジア……………中国、台湾、韓国、タイ

(4) その他……………チュニジア

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。